

2013年 観光情報論

6月17日



第9講

- Tourism Linkage
- ホームページをサーバーにのせる！

期末プロジェクト提出の基準



1. 最低限必要なファイルと内容
 1. グループの表紙ページ(日・英)にその「観光情報のコンセプト」が示されていること。
 2. 個人の表紙ページ(日・英)
 3. リンク先のページ(内容のページ3枚以上)(日・英 計6枚)
 4. 参考文献のページ(reference)(日・英)
 5. ホームページ作成後の感想(日・英)
 6. 自己紹介ページ(index.htm)(日・英)
 7. Civic Pride (civicpride.htm)(日)
 8. Onsite_info.htm(日・英)
 9. Ideal_trip.htm(日・英)
 10. 内容がオリジナルで、フィールド調査にもとづいたものであり、観光情報にふさわしいものであること。
2. ファイル名は英数小文字でつける。
3. Reference(参考文献)のページを載せる。参考文献はWebだけでなく、紙媒体からも集める(2つ以上・著書、ガイドブック、無料情報誌。パンフレット、personal communication等)。
4. 個々人のページには、必ず下記の全てのページへのリンクをつける。
 - **グループのトップページ**に戻るボタン
 - 次のページに行くボタン
 - 前のページに戻るボタン
 - Referenceに行くボタン
 - 英語のページに行くボタン(英語のページには日本語へ行くボタン)

サーバ (Server) とクライアント (Client)

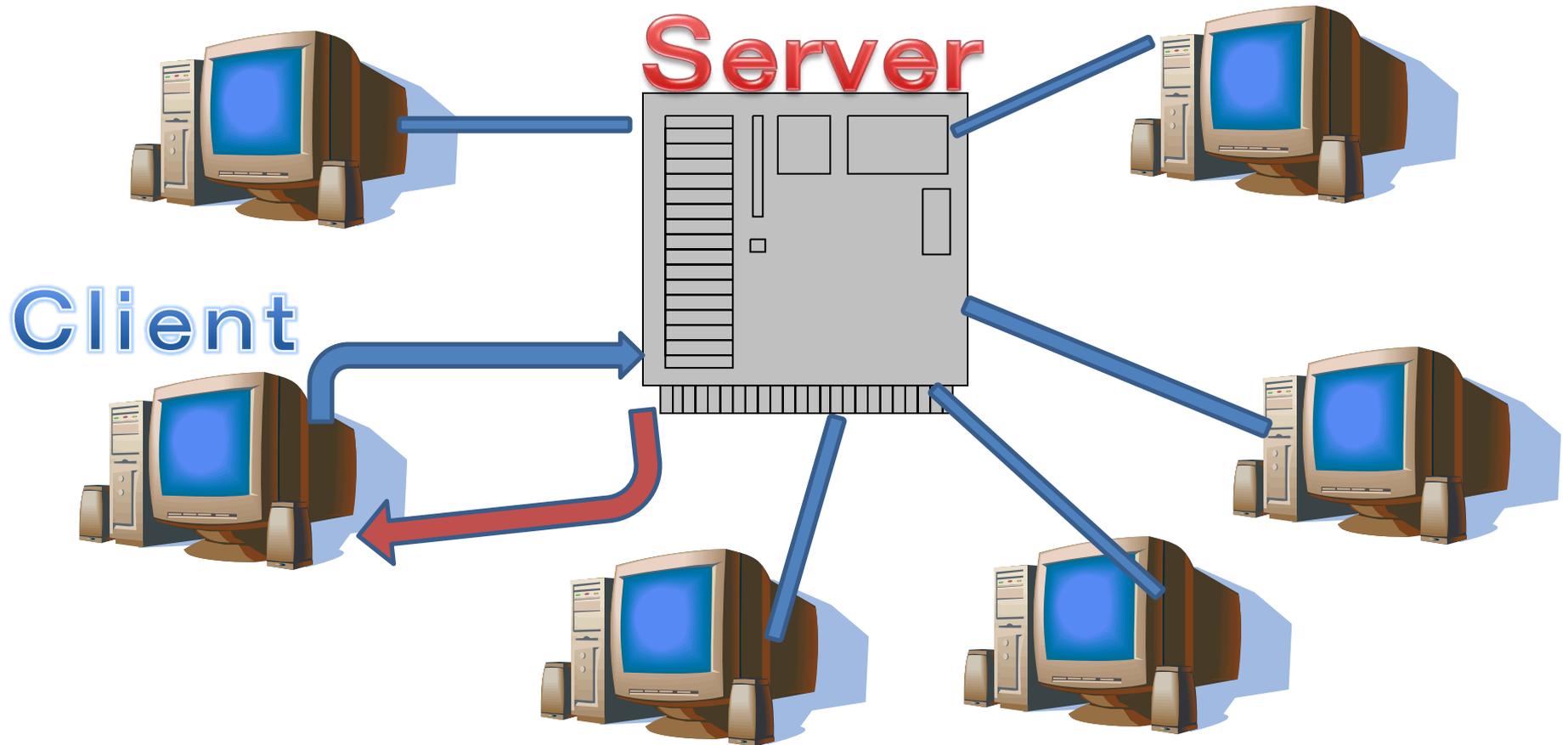
- **サーバ (Server)** → 「仕える」ホスト
利用者の要求に応え、様々なサービスをネットワーク経由で提供するコンピュータ



- **クライアント (Client)** → 「お客さん」
皆さんのコンピュータ・情報をインターネットからホームページなどを見るとき、手元にあるコンピュータ



サーバ (Server) とクライアント (Client)



LAN (Local Area Network) 例: 琉球大学のネットワーク

ホストの設定

基本 拡張 文字コード ダイアルアップ 高度

ホストの設定名(I) ホスト名(アドレス)(N)

ユーザ名(U) パスワード/パスフレーズ(P)
 ●●●●●●●● anonymous

ローカルの初期フォルダ(L)
 ...

ホストの初期フォルダ(R)

最後にアクセスしたフォルダを次回の初期フォルダとする(E)

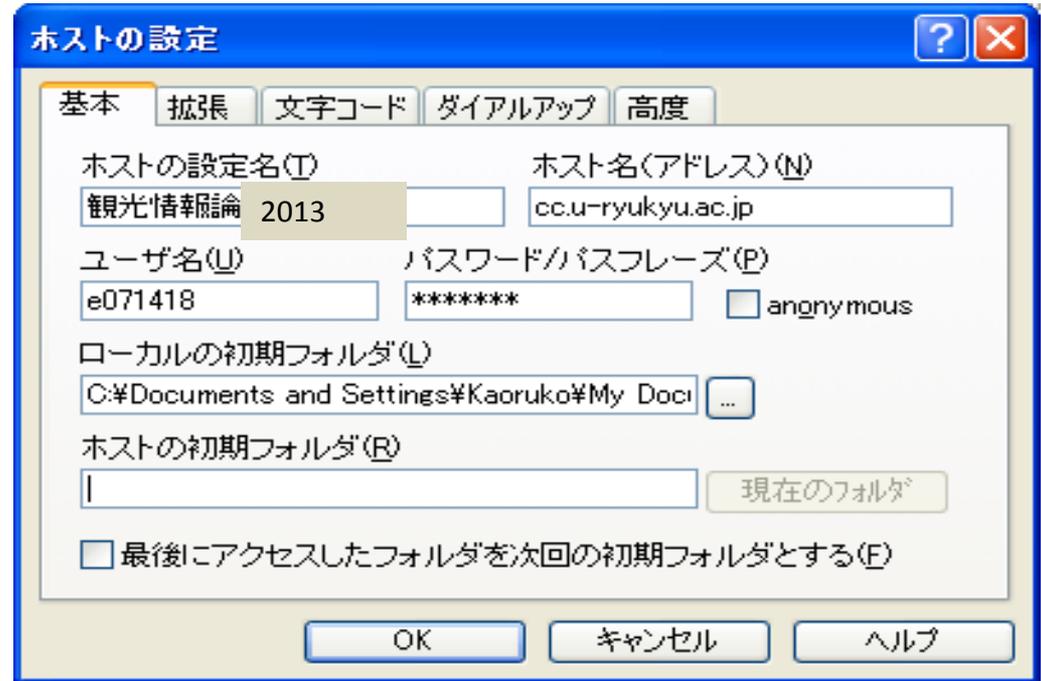
アクション(O) ヘルプ(H)

	サイ	名前	日付
:19	135,98		
:42	262,90		
:55	434,17		
:17	6,12		
:43	47,43		
:48	27,64		



1-1. Uploading homepage・・・ FFFTPの設定

③ ホストの設定窓で
右図のように設定
してOKをクリック。



ローカルの初期フォルダー
の 右横のボタンを
をクリックして
マイドキュメントあるいは
USBを選ぶ。

④ ホスト一覧のウィンドウ
で接続をクリック

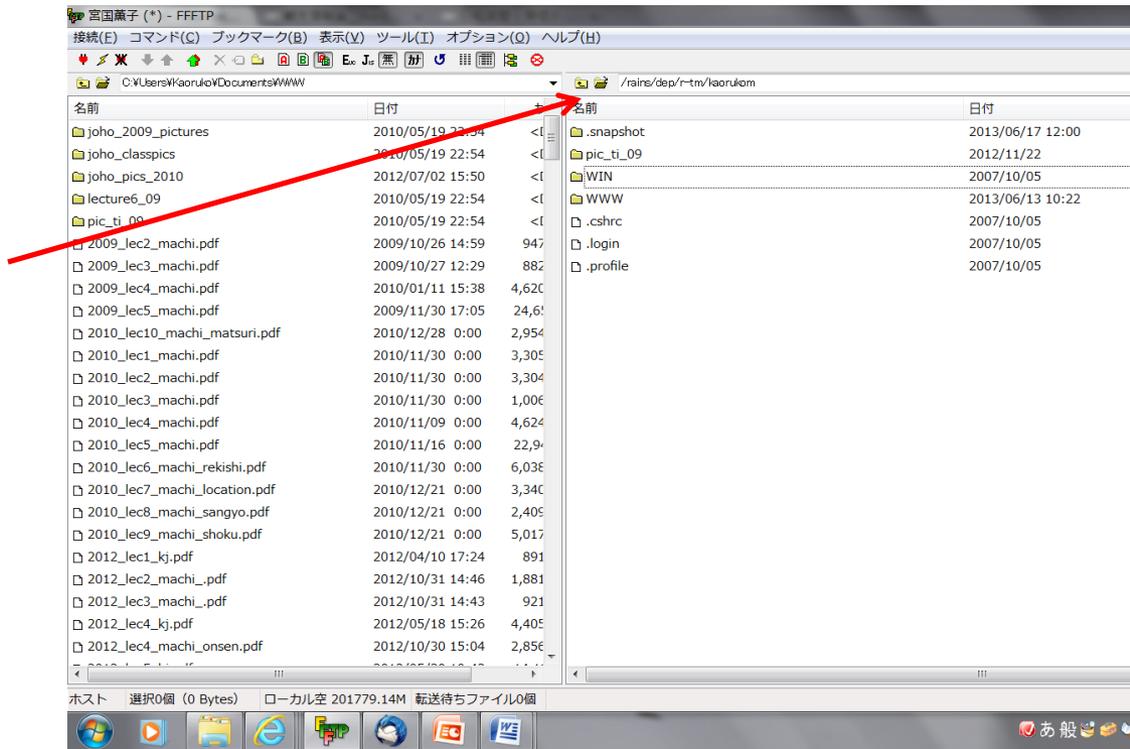


1-2. Uploading homepage

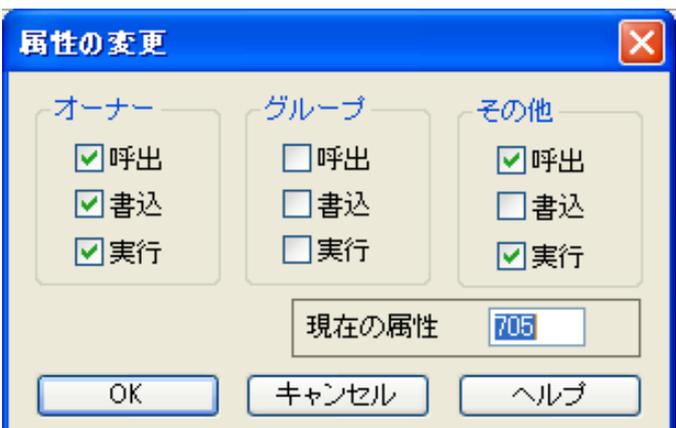
FFFTPの設定



⑧ 階層1つ上のボタンをクリックし、一つ上の階層に行く。



⑨ 自分のフォルダー (例: e071777) をツ右欄に見つけたら、そのファイルを右クリックして 属性変更 をクリック



⑩ 現在の属性に705 と入力してOKをクリック。

2. Uploadする



- ⑪ FFFTP の右の欄で自分のフォルダー(例:e071777)をダブルクリックする。
- ⑫ FFFTP の右の欄でWWWのフォルダーをダブルクリックする。
- ⑬ 左の欄のindex.htm ファイルをハイライトし、左欄から右欄に、(矢印ボタン)を使ってuploadする。index.htmの関連するファイル(写真など)も同じようにuploadする。

- ⑭ 全てアップロードしたら、インターネットエクスプローラを開き、URLアドレスに下記のアドレスをタイプしWeb上でホームページが見れるかどうか、チェックする。
- ⑮ civicpride.htmをアップロードする。
- ⑯ onsite_info.htmとその関連ファイルをアップロードする。
- ⑰ ideal_trip.htmとその関連ファイルをアップロードする。

Tilder mark と あなたの学生番号

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e080001>

ファイルをアップロードしていたならば、
Index.htm以外のホームページは、
自分の学生番号の後にファイル名を入れ
ると見ることができる。

シビックプライドのホームページを見る場合。

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e080001/civicpride.htm>

着地情報のホームページを見る場合。

http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e080001/onsite_info.htm

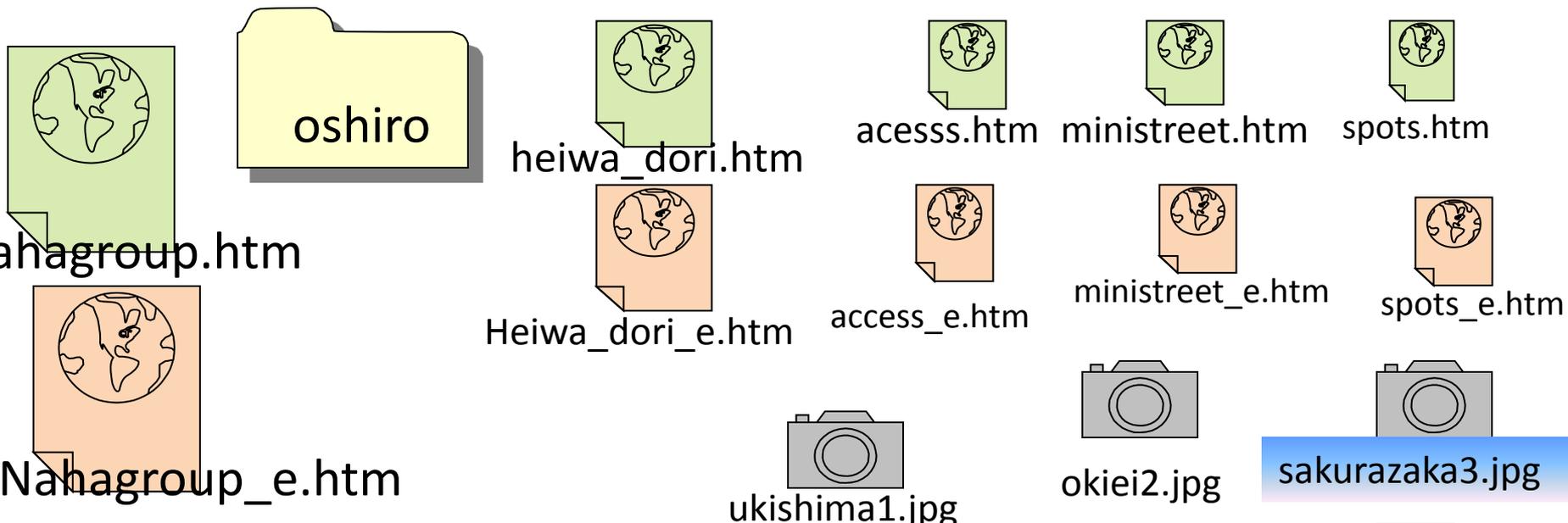
たとえば・・・

グループの表紙のページ名がcoverpage.htmだとすると・・・

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e080001/coverpage.htm>

ホームページの予備知識① Text p.223

(リンクの張り方一フォルダーにファイルをまとめた場合)



★ Nahagroup.htmのメモ帳には、こう書く。
平和通りについては
``
`ここ`

★ Heiwa_dori.htmのメモ帳には
グループの表紙ページは
`` **ここ**
``



ホームページの予備知識② Text p.223

(リンクの張り方一フォルダーにまとめていない場合)



nahagroup.htm



heiwa_dori.htm



access.htm



ministreet.htm



spots.htm



nahagroupe.htm



heiwa_dorie.htm



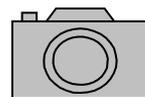
access_e.htm



ministreet_e.htm



spots_e.htm



ukishima1.jpg



okiei2.jpg



sakurazaka3.jpg



bara.gif



reference.htm



index.htm



comments.htm

★ Nahagroup.htmのメモ帳には、こう書く。

平和通りについては

`ここ`

``

★ Heiwa_dori.htmのメモ帳には
グループの表紙ページは

`ここ`

``

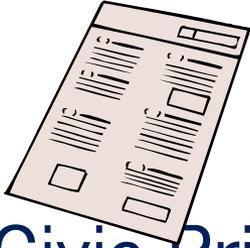
Tourism Linkage (Summary)

経済活性化のために導入される観光開発は、観光客や地域住民のために、また地域に悪影響を及ぼさないためにも体系的な計画が必要です。「リンクージ」というレンズを使用することが観光客や住民、観光従事者に役立つと考えられます。質の高い観光をするには様々な観光資源が連携しなければなりません。

その枠組み作りの手段として、論文では構造物、情報、視覚的、交通、ストーリー、経済の6つの要素を統合した「リンクージ」から現状と観光開発における改善点を見ていきます。ホストとビジターがどのようにすれば共存していくべきか、これらの組み合わせの要素を通して、首里の事例のそれぞれの特徴、または、改善すべき点を発見することができ、リンクージずつの部門を改善して実現できれば、良好なホストとビジターの関係性が築けます。観光リンクージを活用すれば、一つのシステムとして評価する道具としての役割を果たす事が出来ます。

Tourism Linkage (Reflection)

数学では答えを導かせるための方程式があり、観光においても方程式のような考えがあることに驚きました。実際、首里の事例でもそれぞれの問題点が明確にわかりやすく把握出来ましたし、明確に出来たからこそ改善策として具体的に行動に移すことができる計画が行えます。しかし、**数学と違うのは答えがひとつではありませんし、最終的な結果が答えかどうかもわかりません。**観光計画は時代によって変容していくので、**一時的な開発で終わるのではなくそれぞれの時代に合わせながら、**開発は持続的に進まなければいけないと思います。例えば、情報のリンケージの一つとして、今流行りのスマホを活用する取り組みで改善を図っても、新たな効率的情報提供サービスが誕生すれば、改善のためにそれに合わせることも考えられます。常に長い目で見た計画が必要であり、観光リンケージはそれらを図るための手段として最適だと思います。(Kazumi Yamazato)



課題

1. Civic Prideの事例「Bristol」を civicpride.htm にまとめ、提出。

まとめ(400字程度)

感想(300字程度)。

2. 期限:6月23日(日) 11:59pm

5. 件名:観光情報論__Bristol

6. メール先:kaorukom@eve.u-ryukyu.ac.jp

Tourism Linkage (Reflection)

一つ一つのリンクージュが観光においてなくてはならないものであり、首里の例で、それらをすべて実現することのむずかしさを感じた。私は首里の石畳の景観が好きでよく訪れていたが、観光地という点では漠然と物足りなさを感じていたため、このリンクージュの視点からそれらが明確化されていてとても納得できた。以前行った京都では、都市全体の観光地としての統一性と歴史的背景にとっても魅力を感じたので、機会があれば**京都の観光開発を観光リンクージュの視点から**見てみたいと思った。

(Riko Higa)

Tourism Linkage (Reflection)

質の高い経験という言葉が印象に残った。質の高い、あるいは低いと感じる経験は、観光者によりそれぞれ異なると思う。しかし、少なくともただ訪れて、観光資源を何となく見てまわり、ただお金をつかって非日常的な時間を過ごしたというのではなく、それぞれの観光資源のストーリーを繋げ、観光者が想像を膨らませながらその地域や歴史などに対して何かを感じたり考えたりする機会を与えることで、記憶にも残るし満足度も上がるだろうと感じた。また、終わりにあった、「多くの観光客を住民の居場所に受け入れることは住民のためにならないことが多い」というのは難しい現実だと思うが、住民によるインタープリテーションが増えることは、それを和らげる良い方法の一つだと思う。そのためにはやはり、civic prideで見てきたように、住民が自分の住む地域に対して関心や愛着、誇りを持つことが始まりなのかもしれないと感じる。
(Mamiko Taira)